

募集締切：2026年9月30日必着

2026年度 放射線教材コンテスト
応募要項

2026年6月
日本科学技術振興財団

1. 開催概要

(1) タイトル

2026年度放射線教材コンテスト 一授業（教科、単元）の中で、ピンポイント（5～10分）で活用できる放射線教材を考えてみようー

(2) 主催、後援

主催：公益財団法人日本科学技術振興財団

後援：東京都教育委員会、福島県教育委員会、全国小学校理科研究協議会、全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会、公益社団法人日本理科教育振興協会、NPO法人放射線教育フォーラム

(3) 目的

- ・放射線に関する正確な知識・技能の普及啓発
- ・学校等における放射線教育の普及啓発
- ・放射線観察実験の機会拡大
- ・多種多様な放射線教材の創出
- ・放射線（教育）関係者等のネットワーク強化

(4) 審査委員会

審査委員長：清原 洋一 秀明大学学校教師学部 教授

審査 委員：青木 久美子 東京農業大学教職・学術情報課程理科教育研究室 教授

大谷 浩樹 帝京大学医療技術学部診療放射線学科 教授

加藤 真介 横浜薬科大学薬学部放射線科学研究室 教授

小林 輝明 敬愛大学教育学部 教授

関根 紀夫 東京都立大学健康福祉学部放射線学科 准教授

(5) 対象

放射線（教育）分野等を専攻する大学生、大学院生、短期大学生、高等専門学校生、専門学校生等の学生個人または数名のチーム（所属学部や学科、専攻の名称等に必ずしも「放射線」が含まれる必要はない）。

(6) 審査プロセス

	審査員
1次審査	教職員OB・OG等の教職員経験者
2次審査	本コンテスト審査委員
最終審査	本コンテスト審査委員

(7) 審査基準

○基本（基礎点）

- ・授業で実施しやすく、5～10分で実施できる内容となっているか。
- ・対象とする学校種（小・中・高・特）で実施できる放射線教材となっているか。
- ・内容が偏ることなく、中立的となっているか。
- ・放射線観察実験の機会拡大となる教材となっているか。

○加点

知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none">・教材内容と、校種、教科、単元が合致しているか。・授業で活用したくなる教材となっているか。・知識・技能の習得が期待できる教材となっているか。・教材の目的、伝えたいメッセージ、放射線に関する知識等が、明快かつ正確な内容となっているか。・過去の文献や実験を参考にしているか。（過去の文献や実験との違いの大小は評価しない。違いが少なかったとしてもオリジナルの部分が明確に説明できているほど高く評価する。）・参考文献が明記されているか。
思考力・ 判断力・ 表現力等	<ul style="list-style-type: none">・放射線について学ぶ児童生徒の思考力・判断力・表現力等を育む内容となっているか。・「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ったアクティブ・ラーニング教材となっているか。・応募者自身が放射線について学習した際に「エウレカ」※¹と納得や感動した内容を、教材に落とし込んでいるか。・これまでの受賞作品にはない新たなアイデア、「見方・考え方」を示しているか。（これまでの受賞作品との違いが明確であるほど高く評価する。）

※1「エウレカ」とは…紀元前のギリシア、アルキメデスは複雑な形をした王冠の体積を知るための方法を考えていたときに入浴したところ、自分が湯の中に浸かった分だけ、浴槽から湯が溢れ出ることに気づき、その解決策を思いついたといわれている。その時、喜びのあまりに思わず叫んだといわれている言葉が「EUREKA（エウレカ）」であり、「わかったぞ！」という意味の感嘆詞である。

2. 応募内容・資格・方法

(1) 応募内容

児童生徒が放射線について学ぶための放射線教材及びその放射線教材を用いた演示内容（以下、作品という。）を応募するものとする。演示については、学校での活用を念頭に、1回あたり5～10分程度のブース実演ができるものとする。

1校あたりの応募数に制限は設けないが、最終審査は1校あたり2作品までとする。

(2) 応募資格

- ・放射線について小・中・高等学校の児童生徒に伝えたい内容と、その内容を対象者に伝えるため

のアイデアを有していること（応募時点で教材が完成している必要はない）。

- ・ 本コンテストの応募に際して、教職員による指導が受けられること。
- ・ 表彰式（放射線教育発表会）に参加できること。
- ・ 応募した教材の教育現場等での活用について、同意する意思があること（教育現場等での活用については、「6. 教材の公開」を参照のこと）。

（3）応募方法および提出物

下記のものを電子メール（提出先メールアドレス :radi-info@jsf.or.jp）に添付して提出する。

	提出期日	応募者全員	2次審査通過応募者
募集締切	9月30日 (水)	次のどちらか（指定書式） A. エントリーシート + 予稿 B. 【簡易版】応募用紙	—
最終審査 資料締切	11月20日 (金)	—	・ 抄録（予稿を修正したもの） ・ 放射線教材 ・ 模擬実演の動画データ

3. 賞^{※2}

		件数	副賞（商品券）
最優秀賞		1	3万円相当
優秀賞		若干数	1万円相当
特別賞 ^{※3}	全国小学校理科研究協議会特別賞	1	1万円相当
	全国中学校理科教育研究会特別賞	1	1万円相当
	日本理化学協会特別賞	1	1万円相当
	NPO法人放射線教育フォーラム特別賞	1	1万円相当
	放射線教育支援サイト“らでい”特別賞	1	1万円相当
	日本科学技術振興財団理事長賞 特別賞	1	1万円相当
入選		若干	2千円相当
準入選		若干	1千円相当

※2 各賞の賞状は応募代表者、共同応募者の全員に授与する。

※3 特別賞は、最優秀賞、優秀賞とは別途選考され、他の賞と重複して授与される場合がある。

4. 表彰式（放射線教育発表会）

日程：2026年12月27日（日）

会場：科学技術館（東京都千代田区北の丸公園2番1号）

方法：対面実施（オンラインは実施しない）

スケジュール：①表彰式

②発表会（ブース実演）

③パネルディスカッション

発表会参加者：最優秀賞、優秀賞、特別賞の受賞者について、各グループ（または個人）につき応募者1名と、引率する教職員1名の交通費、宿泊費を当財団の規定に基づき支給する。

5. スケジュール

日程	内容
9月30日（水）	募集締切
10月下旬（予定）	2次審査通過作品発表
11月20日（金）	最終審査資料提出
12月上旬（予定）	受賞作品発表
12月27日（日）	表彰式（放射線教育発表会）

6. 教材の公開

- ・ 応募した教材が受賞した場合、その教材、予稿、動画データ（模擬実演）について応募者は、著作権（財産権）、著作者人格権を行使しないものとする。
- ・ 応募した教材が受賞した場合、その教材、予稿、動画データ（模擬実演）については、放射線教育支援サイト“らでい”（<https://www.radi-edu.jp/contest>）において公開する。
- ・ 本コンテストは、放射線教育普及に寄与することを目的としている。入選した場合、教材、予稿、動画データ（模擬実演）の内容は、予稿の引用に基づき、教育現場等で広く活用される場合がある。
- ・ 応募した教材が入選し、応募者（応募代表者及び協応応募者）がその産業財産権について保護したいと考えた場合には、特許権、実用新案権、意匠権、商標権等について、応募者自らが審査会までに手続きを済ませた上で、事務局にその旨を連絡するものとする。
- ・ 応募教材を第三者が活用する際の引用方法は、以下の通り、教材名、教材作成者、作成年、URLを明記するものとする。

例： 「放射線の〇〇に関する教材」（財団太郎，2024）

<https://www.radi-edu.jp/contest>

7. 問い合わせ先

公益財団法人日本科学技術振興財団 総務室付エネルギー・環境プロジェクト

放射線教材コンテスト事務局

Email：radi-info@jsf.or.jp

電話：03-3212-8504

以上